Press Release／報道関係各位

2026 年 11 月 11 日

【取材依頼】

神田外語大学

神田外語大学 × F-REI

『グローバル・コミュニティ・プロジェクト』

11 月 19 日(木)・20 日(金) 学生 15 名が福島県浜通りでフィールドワークを実施

～外国人住民の受入環境の改善に向け、自治体・地域関係者と意見交換～

神田外語大学（千葉県千葉市、学長：芦沢 真五）は、福島県浜通り地域における外国人住民の受入環境の改善を目指す「グローバル・コミュニティ・プロジェクト」の一環として、2026 年 11 月 19 日（木）・20 日（金）の 2 日間、学生 15 名によるフィールドワークを実施します。本プロジェクトは、福島県の「福島国際研究教育機構地域連携加速化事業補助金」を活用して実施するものです。学生たちはこれまで、昼休みを利用した定例ミーティングを中心に、浜通り地域の復興の歩みや外国人住民の受入環境などについて事前学習や意見交換を重ね、現地での調査に向けた準備を進めてきました。今回のフィールドワークでは、自治体や地域関係者との意見交換を通じて、行政手続きやごみの分別、防災・災害情報など、外国人住民の日常生活に関わる情報の伝わりやすさや多言語化の必要性について調査します。また、病院や企業、商工会議所などを訪問し、外国人住民を取り巻く地域の受入環境についても現状や課題を把握します。こうした活動を通じて改善提案につなげるとともに、将来的には外国人住民が安心して暮らし、地域社会とつながることのできる環境や交流の場づくりを目指します。



▲ 昼休みの定例ミーティングの様子①



▲ 昼休みの定例ミーティングの様子②

『グローバル・コミュニティ・プロジェクト』 実施の背景

福島県浜通り地域では、東日本大震災・原子力災害からの復興に向け、地域の再生や新たな産業基盤の形成が進められています。

今後、福島国際研究教育機構（F-REI）をはじめとする研究・産業活動の進展に伴い、外国人研究者やその家族、外国人就労者など、多様な背景を持つ人々が地域で生活する機会の拡大が見込まれます。こうした中、行政サービスや防災・災害情報などの多言語化をはじめ、外国人住民が安心して暮らせる受入環境の整備が重要となります。

神田外語グループは、2023 年 9 月 8 日に福島県と包括連携協定を締結し、語学教育や国際交流などの強みを生かした復興支援に取り組んできました。2025 年度には、学生が浜通り地域でフィールドワークを実施し、その成果を日英併記の新聞『福島とともに』としてまとめ、世界に発信しました。

2026 年度は、こうした活動をさらに発展させ、吉田晴美客員教授を担当教員として、昨年度の「震災復興発信プロジェクト」を担当した柴田真一特任教授のサポートも受けながら、「グローバル・コミュニティ・プロジェクト」を通じて、外国人住民の受入環境という地域課題に取り組んでいます。学生の語学力や多文化理解を生かし、現地での調査や地域関係者との対話を通じて、具体的な改善提案につなげていきます。

11 月 19 日(木)・20 日(金) フィールドワークの概要

今回のフィールドワークでは、神田外語大学の学生 15 名が福島県浜通り地域を訪問し、自治体や関係機関などとの意見交換や現地調査を通じて、外国人住民の受入環境に関する課題を把握します。

活動では、行政手続きに関する書類、ごみの分別ルール、防災・災害情報など、外国人住民の日常生活に必要な情報を中心に調査します。外国籍学生や複数の言語を学ぶ学生など、多様な背景や視点を生かしながら、情報の分かりやすさや伝え方を検討し、改善提案や成果物の検討につなげます。

また、病院や企業、商工会などへの訪問を通じて、外国人住民を取り巻く地域の受入環境についても調査します。現場での意見交換を通じて、外国人住民が地域で安心して暮らすために必要な支援や、地域社会とのつながりを生み出すうえでの課題について理解を深めます。

＜実地概要（予定）＞

<table>
<tr><td colspan="3">目　的</td><td>外国人住民の受入環境に関する課題の把握と改善提案</td></tr>
<tr><td colspan="3">日　程</td><td>2026 年 11 月 19 日（木）・20 日（金）</td></tr>
<tr><td colspan="3">場　所</td><td>福島県浜通り地域
（楢葉町、浪江町、南相馬市、葛尾村、富岡町、いわき市）</td></tr>
<tr><td colspan="3">参加者</td><td>神田外語大学の学生 15 名
担当教員（吉田晴美 客員教授）など</td></tr>
<tr><td colspan="4">スケジュール</td></tr>
<tr><td>11 月 19 日
（木）</td><td colspan="3">■東日本大震災・原子力災害伝承館　視察
■浜通り地域の自治体関係者など　勉強会・意見交換
■福島国際研究教育機構（F-REI）　説明・質疑応答</td></tr>
<tr><td rowspan="4">11 月 20 日
（金）</td><td rowspan="3">午前</td><td>A 班</td><td>■南相馬市　自治体や商工会議所など　説明・質疑応答</td></tr>
<tr><td>B 班</td><td>■葛尾村　自治体や村内企業など　説明・質疑応答</td></tr>
<tr><td>C 班</td><td>■富岡町　自治体や町内病院など　説明・質疑応答</td></tr>
<tr><td>午後</td><td colspan="2">■いわき市文化センター　説明・質疑応答</td></tr>
</table>

今後の活動予定（※調整中）

フィールドワーク終了後は、学生たちが現地で把握した課題を整理・分析し、外国人住民の受入環境の改善に向けた具体的な提案に取り組みます。また、現地でのヒアリング結果を踏まえ、地域のニーズに応じた成果物の制作についても検討していきます。今後の主な活動は以下のとおりです。

時　期	主な活動内容
【フィールドワーク後】 2026 年 11 月 21 日～	＜課題分析・改善提案・成果物制作＞ フィールドワークでの自治体や病院、企業、商工会などへの訪問・ヒアリングを通じて得た情報をもとに、外国人住民の受入環境に関する課題を整理・分析し、改善に向けた具体的な提案を検討します。 また、行政手続きに関する書類やごみの分別ルール、防災・災害情報などの多言語化も視野に入れながら、現地で把握した課題やニーズに応じて、制作する成果物の内容を検討していきます。
2026 年 12 月中旬～2027 年 1 月上旬	＜関係自治体などへの成果報告・勉強会＞ 調査結果や改善提案、検討・制作した成果物などを関係自治体などに共有し、地域関係者との意見交換を実施する予定です。

また、上記の活動に加え、フィールドワークを通じて得られた気づきや地域とのつながりを生かし、関係自治体や地域の方々との連携によるさまざまな活動への展開も視野に入れています。

本プロジェクトでは、こうした取り組みを通じて、将来的には外国人住民が安心して暮らし、地域の人々と交流できる環境や場づくりにつなげていくことを目指します。

神田外語大学では、学生が語学力や異文化理解を実社会の課題解決に結び付ける実践的な学びを深めるとともに、福島県浜通り地域の復興と多文化共生の推進に貢献してまいります。

参考

【神田外語大学】https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/

【福島県との包括連携協定】https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/320051/

【昨年度の活動：『震災復興発信プロジェクト』】https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/472065/

※本学から配信されるプレスリリースは SDGs に基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。
https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/

報道関係の方の取材申し込みについて

各施設様への取材受入れの確認などがありますため、取材をご希望の際は、以下お問い合わせ先まで事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞

神田外語グループ　グループコミュニケーション部　担当：三上山　雄亮

TEL:03-3258-5837(平日　9:30～17:00)　FAX:03-5298-4123　E-mail: media@kandagaigo.ac.jp